

敬和学園大学

【人文学部】国際文化学科/英語文化コミュニケーション学科/共生社会学科
〒957-8585 新潟県新発田市富塚1270
☎0120-26-3637 FAX:0254-26-3996

www.keiwa-c.ac.jp



敬和学園大学は
(財)大学基準協会の大学評価を受け、大学基準に「適合している」と認定されました。

リベラルアーツ LIBERAL ARTS

日本近現代史 Modern Japanese History	国際政治学 International Politics	英語学 English Linguistics	社会福祉 Social Welfare
アジア近現代史 Modern Asian History	経済学 Economics	応用言語学 Applied Linguistics	地域福祉 Community Welfare
ヨーロッパ近現代史 Modern European History	アニメ産業 Animation Industry	心理学 Psychology	NPO・まちづくり NPO, Community Development
文化人類学 Cultural Anthropology	情報メディア Information Media	教育学 Education	社会起業 Social Entrepreneurship
キリスト教学 Christianity	アメリカ社会史 American Social History	児童英語教育 English Education for Children	ボランティア Volunteerism
哲学 Philosophy	アメリカ文学 American Literature	日本語教育 Japanese Education	スポーツ科学 Sports Science
国際法学 International Law	イギリス文学 English Literature	福祉思想と実践 Welfare thought and its practice	



敬和学園大学のパンフレットは、ユニバーサルデザインフォントを使用しています



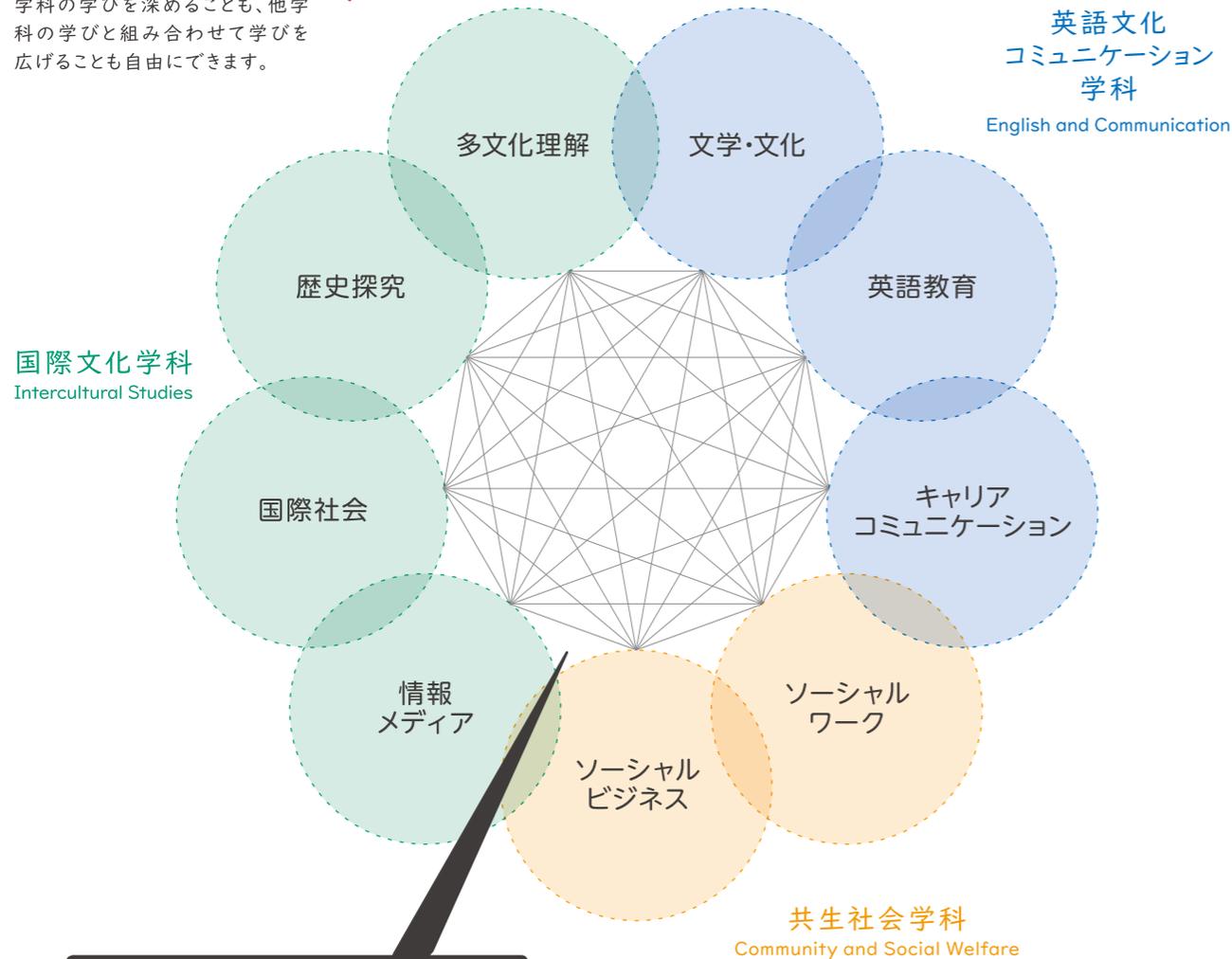
「教員・講義ガイドブック2024」
リベラルアーツの学び

学びが社会につながる リベラルアーツの学び方

リベラルアーツの最大の特長は、幅広い分野にわたる学びを自由に選択できることです。学科の垣根を越えて、広い専門分野を横断的に学ぶことが可能です。敬和学園大学では3学科9分野にわたる幅広い専門科目を用意しています。また、所属する学科の科目だけでなく、他学科の科目も柔軟に選択し、卒業必要単位に組み入れることができます。

① 学科を越えて学べる

学科の学びを深めることも、他学科の学びと組み合わせることで学びを広げることが自由に行えます。



② 自由に組み合わせる

例えば3分野を組み合わせるパターンは、 $9 \times 8 \times 7 = 504$ 通りあります。

科目分野の組み合わせにより、学びが社会につながる

専門に学ぶ分野は、一つとは限りません。複数にわたる学問分野を横断的に学ぶことで、あなたの可能性は大きく広がります。敬和学園大学では、科目分野の組み合わせにより、体系的に学びを深めるプログラムを用意し、学びを社会につなげています。

●「ディプロマ」プログラム

学びの組み合わせ	ディプロマ名称	内容	将来の仕事
キャリアコミュニケーション × 国際社会 × 歴史探究	グローバル市民プログラム	言葉と国際理解の力を背景に「地球市民」として分け隔てなく人々のために生き、活躍の場を海外に広げる人材を育成します。集中的な英語力養成、留学、海外インターンシップ、その後続く学びのプログラムです。	→ 商社、グローバル企業、NGO(国際協力)、NPO(公益活動)
ソーシャルビジネス × 国際社会 × 情報メディア	地域経営プログラム	企業経営やコミュニティ形成のために必要となる理論を、地域の現状と共に学びます。これらの知識を地域社会の中で実践する経験を通じて、地域の未来を支える社会人を育成します。	→ 公務員、地場企業、地域金融機関、NPO(公益活動)
情報メディア × キャリアコミュニケーション × ソーシャルビジネス	情報メディアプログラム	ソーシャルメディアをはじめとした、さまざまな「メディア」による情報発信を実践的に学びます。同時に、アニメ、ゲーム、映像作品などのコンテンツ制作についても学ぶプログラムです。	→ IT・アニメ産業、マスコミ、アナウンサー、観光サービス
キャリアコミュニケーション × 英語教育 × 文学・文化	英語イマージョンプログラム	英語を集中的に学び、第二言語としての英語運用能力を身につけることを目標とします。卒業後の社会で通用する英語力と英語で思考し、伝える力を身につけます。	→ ホテル、航空会社、商社、観光サービス
英語教育 × 文学・文化 × キャリアコミュニケーション	児童英語教育プログラム	「児童英語教育概論」やインターンシップ等を通じ、子どもたちに英語を教える理論と実践を学ぶプログラムです。小学生対象の英語活動の現場に参加し、子どもたちとの交流を通じて、学びを深めます。	→ 児童英語講師、小学校教員、教育機関
多文化理解 × 国際社会 × 英語教育	日本語教育プログラム	日本語を駆使する能力と日本文化についての多角的な知識を修得します。外国人留学生が母国で、日本人学生が海外で日本語教育に携わる時にも役立ちます。海外でのインターンシップへの参加も可能です。	→ 日本語教師、各種学校、教育機関
文学・文化 × 歴史探究 × ソーシャルワーク	キリスト教教育プログラム	聖書を通じてキリスト教そのものを学ぶと同時に、歴史や文学作品を通じて、欧米の思想文化の根底にあるキリスト教への理解を深めます。キリスト教を題材に、人間の生き方を学びます。	→ 牧師、伝道師、宗教科教員、研究者

※各プログラム修了者には、本学認定の修了証が授与されます。

リベラルアーツの学び CONTENTS

<p>学びをひろげる 未来がひろがる</p>			
<p>→ P.5 日本近現代史 現在の問題を意識するための歴史学 担当教員: 金 耿昊</p>	<p>→ P.7 文化人類学 私たちは、自分のことを分かっているだろうか 担当教員: 長坂康代</p>	<p>→ P.9 国際政治学 現実を踏まえながら平和な世界を構想する 担当教員: 富川 尚</p>	<p>→ P.16 福祉思想と実践 ボランティアの思想的背景を理解する 担当教員: 田中利光</p>
<p>→ P.6 アジア近現代史 中国と東アジアの関係を学ぶ 担当教員: 土居智典</p>	<p>→ P.7 キリスト教学 神と人間と世界について考える 担当教員: 下田尾治郎</p>	<p>→ P.9 経済学 経済学から環境問題を考える 担当教員: 房 文慧</p>	<p>→ P.17 社会福祉 人間としてどう生きるのかを学ぶ 担当教員: 山崎ハコネ</p>
<p>→ P.6 ヨーロッパ近現代史 歴史を学ぶことは、今を生きる立ち位置を知ること 担当教員: 丸島宏太</p>	<p>→ P.8 哲学 「当たり前」を疑う 担当教員: 井西弘樹</p>	<p>→ P.10 アニメ産業 コンテンツが社会に与える影響について考える 担当教員: 松本 淳</p>	<p>→ P.17 地域福祉 地域課題の解決策は地域にある 担当教員: 趙 晤行</p>
<p>→ P.11 アメリカ社会史 人々の目線から国家や共同体の歴史を探る 担当教員: 山崎由紀</p>	<p>→ P.8 国際法学 地方、そして日本と世界の関わりを実感する 担当教員: 藤本晃嗣</p>	<p>→ P.10 情報メディア 新しいデジタルメディアに触れる 担当教員: 一戸信哉</p>	<p>→ P.18 NPO・まちづくり 地域課題を解決する組織について学ぶ 担当教員: 堀野巨求</p>
<p>→ P.12 アメリカ文学 北米の文学と、それを生み出した背景を学ぶ 担当教員: 荒木陽子</p>	<p>→ P.13 英語学 英語を通して人間の知の営みを探る 担当教員: 主演祐二</p>	<p>→ P.14 教育学 健やかに生きるための学びを教育学的に探究 担当教員: 江口和美</p>	<p>→ P.18 社会起業 山積する生活問題を解決・緩和する手法を学ぶ 担当教員: 石坂 誠</p>
<p>→ P.12 イギリス文学 文学は人間的生き方を模索する手がかり 担当教員: 金山愛子</p>	<p>→ P.13 応用言語学 ことばの教授と学習を研究する 担当教員: 川又正之</p>	<p>→ P.15 児童英語教育 児童対象の英語指導法を学ぶ 担当教員: 大岩彩子</p>	<p>→ P.19 ボランティア 思いを行動に移し、自分らしい生き方を見つける 担当教員: 池田しのぶ</p>
<p>→ P.12 心理学 心の働き方の理解を深める 担当教員: 益谷 真</p>	<p>→ P.14 日本語教育 「日本語」を手がかりに世界を広げる 担当教員: 木林理恵</p>	<p>→ P.15 スポーツ科学 元オリンピック選手が指導するスポーツ実習 担当教員: 松浦進二</p>	

国際文化学科

[Intercultural Studies]

異文化を学び、自分と世界のつながりを考える

人が集まって社会ができ、社会の集合が世界をつくっていきます。グローバル化が進む今、異なる文化を知り、自分たちの地域と国際社会とのつながりを理解することが必要です。国際文化学科では、さまざまな文化や歴史への理解と、国際社会と地域の相互関係を学ぶことで、グローバルな視点を持つ国際教養人を育てます。



歴史探究 コース

歴史の学びを通じて、未来を考える

日本史、アジア史、ヨーロッパ史の学びを通じて、人類社会の過去における営みの中に私たちの現在を知るさまざまな英知を探究し、人類にとってよりよい社会を築いていく力を育てます。



多文化理解 コース

異文化を理解し、他者との向き合い方を考える

ヨーロッパ、アジアの多様な文化や習慣を理解し、グローバル化が進行する現代の多文化社会の中で、自己のアイデンティティを保ちながら、異なる他者との絆を深める力を育てます。



国際社会 コース

私たちが生きている国際社会の仕組みを学ぶ

国際政治、国際法、国際経済の勉強を通じて、複雑な国際社会の仕組みを理解し、グローバルな視点を養います。自分たちの社会と世界のつながりを理解し、行動する力を育てます。



情報メディア コース

情報メディアと社会を学び、「発信力」を磨く

情報メディアに関する諸領域を学び、ウェブや映像などの「発信力」を磨きます。「発信力」を生かした実践活動により、地域社会の課題を解決する力を養います。

● 学びの分野

日本近現代史

Modern Japanese History

● 担当教員

金 耿昊

国際文化学科
准教授



歴史探究

【最終学歴】 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程

【研究分野】 日本近現代史 / 在日朝鮮人史 / 朝鮮近現代史

【担当する科目】 歴史学 / 日本史概説 / 日本近現代史 / 日本思想史 / 歴史学演習

現在の問題を意識するための歴史学

歴史の学び方には、大きく2つの形があります。1つは、今、目の前にある問題の根源を過去へとさかのぼって見ていく形です。もう1つは、現在とまったく異なる過去の姿に出会うことを通して、今を見つめ直す形です。日本近現代史の学びから得られる歴史認識は、現在の日本の問題を意識することにつながります。

この学問と社会とのつながり

歴史学は、私たちが取り巻く社会の成り立ちを、過去から現在への推移という「時間」の視点からとらえる学問です。そこに新発田市・聖籠町・新潟県（ローカル）、東アジア・世界（グローバル）などの「空間」の視点を加えれば、日本社会をより深く、より広く理解できるようになるはずです。



こんな授業をします

私は在日朝鮮人への民族差別と貧困の歴史を研究してきました。今後は被差別部落やハンセン病、ジェンダー・セクシュアリティの問題など、日本社会におけるマイノリティ差別の諸相も見ていきます。誰にとっても「生きづらさ」のない社会を実現するために何が必要かを考えます。

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① いま、戦争と侵略の時代を考える

講義② 『戦後日本』とは何か？



詳しくはこちら

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

アジア近現代史

Modern Asian History

● 担当教員

土居 智典

国際文化学科
教授



歴史探究

【最終学歴】 広島大学大学院文学研究科東洋史学専攻博士課程後期

【研究分野】 中国近現代史

【担当する科目】 アジア史概説／アジア史／アジア文化論／アジア近現代史／歴史学演習

» 中国と東アジアの関係を学ぶ

第二次世界大戦後の国際秩序が大きく動揺し、再編成を迫られている現在、中国が国際秩序形成にどう関わっていくかについて、世界が注目しています。アジア近現代史の学びを通して、中国が国内的にはどのような統合原理でまとまり、周辺の東アジア地域にどのような影響を及ぼしているのかを考えます。

この学問と社会とのつながり

東アジア諸国は、好むと好まざるとに関わらず、中国から強い影響を受けています。外交、貿易、移住などを通して、今後、東アジアは常に中国の存在を意識しながら相互の結びつきを強めるでしょう。あらゆる分野の社会的ニーズは、中国との関わりを避けることができなくなってきています。

NEW

こんな授業をします

中国国内の政治や経済の動きを通して、現在の中国のあり方を見ていきます。同時に、多様化している日本国内における中国人コミュニティと日本人社会との関係性についても紹介します。中国の動きとその影響が及ぼされている周辺諸国の様子から、東アジアの動きを考えます。

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 今を生きる華僑・華人たち



講義② 北京の昔と今

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

ヨーロッパ近現代史

Modern European History

● 担当教員

丸島 宏太

国際文化学科
教授



歴史探究

【最終学歴】 京都大学法学研究科政治史・近代ドイツ軍事史専攻博士後期課程

【研究分野】 近代ドイツの軍隊と社会／徴兵制の社会史

【担当する科目】 西洋史概説／西洋史／ヨーロッパ文化論／歴史学演習

» 歴史を学ぶことは、今を生きる立ち位置を知ること

ヨーロッパ近現代史の中で、近代ドイツ軍事史を研究しています。歴史を学ぶことは、今を生きる私たちの立ち位置を知ることであり、現代の視点から過去と対話をするということでもあります。近代ドイツの歴史を例にとり、軍事的価値観に私たちが徐々に縛られていく様子を学びます。

この学問と社会とのつながり

昔、アメリカの軍艦の日本寄港に反対する抗議デモの行列があちこちで見られました。ところが最近では、同じアメリカ軍艦の艦内見学会に並ぶ行列が見られます。こんな現代的現象を比較考察するのも、私かいう軍事史の重要なテーマなのです。一般にイメージされる軍事史とはずいぶん違うでしょう。



学生コメント

「ヨーロッパ近現代史」では、歴史上の出来事について、各国の関係、文化、社会情勢、当時の考え方など、さまざまな側面から学び考えます。時代ごとの価値観の変化を感じ、今まで考えもしなかった視点から知識を得ました。対話により、自分たちの意見や疑問を突き詰めていくので、より学びが深まります。

阿部 美希
国際文化学科3年／新潟県立分水高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① ユダヤ人迫害に見る人種差別の歴史



講義② 日常の中の軍隊

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

文化人類学

Cultural Anthropology

● 担当教員

長坂 康代

国際文化学科
准教授



多文化理解

【最終学歴】 名古屋大学大学院国際開発研究科国際コミュニケーション専攻博士後期課程

【研究分野】 文化人類学／都市人類学

【担当する科目】 文化人類学／地域学／地域文化論／文化論演習／アクティブラーニング演習

» 私たちは、自分のことを分かっているだろうか

自分のことを分かるためには、自分と違う他者や異文化が要るのです。他者や異文化を知って、自分を知ること。「文化人類学」は、異文化を鏡にして、他者を知り、それを通して自分を知ることです。

この学問と社会とのつながり

現代は、モノ、人、コトが行き交うグローバル時代です。世界が大きな交流のうねりの中にある今、自分の文化が正しいと優れているとか、または新興国が劣っているといった価値観ではなく、どの文化も正しいという世界の平等を考えていくことが社会にとって重要です。



学生コメント

「文化人類学」では、異文化を通じて自分と他者についての考えを深めます。教室で学ぶだけでなく、生活や食事などイスラムの文化を体験したり、逆に留学生に日本文化を紹介したりと、実践的に活動します。異なる文化や価値観に触れることで、積極性と柔軟性を持って行動できるようになりました。

澤 真
国際文化学科3年／新潟県立巻総合高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 異文化体験—自分を知るために海外の文化に目を向けてみよう



講義② コミュニケーションの取り方を見直そう—“変心”するチャンス！

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

キリスト教学

Christianity

● 担当教員

下田 尾治郎

国際文化学科
宗教部長・教授



多文化理解 歴史探究 文学・文化

【最終学歴】 米国プリンストン神学大学大学院

【研究分野】 キリスト教神学

【担当する科目】 キリスト教学／文化論演習

» 神と人間と世界について考える

キリスト教は、2000年もの長きにわたり、政治、経済、文化、芸術などの発展に影響を与えてきました。その規範となる聖書という書物の理解を通して、かかるキリスト教に対する理解を深めると共に、神、世界、社会、人間について考えていこうとする学問です。

この学問と社会とのつながり

この学問を通して、この世に生を与えられた命の尊厳の根拠を見つめ直し、異なる者が憎み合うのではなく、互いに異なることの豊かさに目覚めつつ、共に支え合う社会を構築していくことの大切さを学んでいただけたらと思います。



学生コメント

「キリスト教学」では、映像などを活用して聖書の世界を分かりやすく教えてくれます。学びが深まるにつれ、聖書に書かれた大切なことを理解でき、気づかなかった自分、知らなかった自分に出会うことができました。自分の中に隠れていた思いや心が明らかにされる喜びを感じています。

井野 吾
国際文化学科4年／私立北越高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① イエスの生涯とその教え



講義② キリスト教の戦争観と平和観

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

哲学

Philosophy

● 担当教員

井西弘樹

国際文化学科
専任講師



多文化理解 文学・文化

【最終学歴】大阪大学大学院文学研究科博士後期課程

【研究分野】哲学・倫理学

【担当する科目】哲学／倫理思想史／ヨーロッパ思想史／文化論演習

≫ 「当たり前」を疑う

哲学は、私たちの「当たり前」を問い直す学問です。例えば、「私とは何か」、「なぜ道徳的であらねばならないのか」など、私たちの周りには哲学的な問題がいくつも隠されています。こうした問題に取り組むことは、人間や世界についてじっくりと考える機会となります。

この学問と社会とのつながり

哲学を学ぶことは、ヨーロッパ文化の基礎を理解することにつながります。そこで得られた知識は、自分とは異なる価値観を持った人々と共に生きていくための助けとなるでしょう。さらに、哲学書を読み解く中で身につけた論理的思考力や読解力は、大学を卒業した後も大いに役立つはず。



学生コメント

「哲学」では、人生、世界、事物の根源のあり方、原理を理性によって求める力を養い、答えの不明瞭な問題を、自らの思考を使って追究していきます。答えがないからこそ自らが物事について模索するのであり、同時に、社会問題に深く関わることで社会の一員であるといった自覚が芽生えます。

梅澤志帆
国際文化学科3年／私立日本文理高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 哲学とはどのような学問か



詳しくはこちら

講義② 同情の難しさについて

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

国際法学

International Law

● 担当教員

藤本晃嗣

国際文化学科
准教授



国際社会

【最終学歴】大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程

【研究分野】国際人権基準とその日本での実施

【担当する科目】日本国憲法／国際法／国際機構論／現代社会演習

≫ 地方、そして日本と世界の関わりを実感する

国際法は、各国の外交関係や戦争を防ぐためのルールなどスケールの大きなものから、私たちの生活に直結する人権問題や国際貿易に関するルールを定めています。国際社会そのものを学ぶと同時に、私たちの生活が国際社会と密接な関係を持つようになったことを実感しましょう。

この学問と社会とのつながり

国際法を通して国際社会を読み解いていくと、国際的な問題が私たちの暮らしに影響を与える一方で、私たちの暮らしが国際的な問題を引き起こしているメカニズムが見えてきます。こうした問題の一つひとつ見ていくことで、国際法学を身近に感じてほしいと思います。



学生コメント

「国際法学」では、世界各国をつなげている法とその作用を学びます。国際法は、私たちの周りの環境にも影響を与えています。その役割を知ることは今の世界情勢を見るきっかけとなり、自分の視野を広げることにつながります。国際法を通じて自分自身と世界とのつながりを実感しました。

竹内愛夏
国際文化学科4年／新潟県立高田北城高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 世界での人権保障



詳しくはこちら

講義② 世界の難民問題

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

国際政治学

International Politics

● 担当教員

富川尚

国際文化学科
教授



国際社会

【最終学歴】同志社大学大学院法学研究科政治学専攻博士前期課程

【研究分野】国際社会の組織化を生みだす政治

【担当する科目】政治学／地域統合論／国際政治論／現代社会演習

≫ 現実を踏まえながら平和な世界を構想する

国際政治学は、現実を踏まえながら平和な世界を構想する学問です。国際社会の基本構造を学んだ上で、戦争をはじめとする国家間の対立の現実と、組織化がすすんで進んでいる国際協力の現実の両方を学習します。みんなが暮らしている社会はこれからどのように変革していくのかを考えていきます。

この学問と社会とのつながり

理想を語るのは年輩者よりも若者の方が得意なはず。何百年に一度の変革期にあるといわれる現代の国際社会は、何よりもよりよい世界を創りあげる理想を必要としています。次代を担う若者が現実と則した質の高い理想を模索していく姿勢こそ、国際政治学の醍醐味があると思っています。



学生コメント

「国際政治学」では、国際社会の構造や役割など、国際関係全般を学びます。政治問題を身近なものとして捉え、考えを深めることで、政治とはどのようなものなのかを考察する力がつきます。国際関係の情勢を理解することで世界の見え方が変わり、政治のおもしろさに気づきました。

上田美咲
国際文化学科4年／私立敬和学園高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① EUを創った人々：国家を超えようとする大実験の原動力



詳しくはこちら

講義② グローバル・ガバナンスとは何か

講義③ グローバル時代に必要とされるリーダーシップ

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

経済学

Economics

● 担当教員

房文慧

国際文化学科
教授



国際社会

【最終学歴】新潟大学大学院現代社会文化研究科経済学専攻博士課程

【研究分野】環境保全を人間の経済活動の中にかき取りむかを課題とする理論と実態の研究

【担当する科目】経済学／経済史／環境経済学／現代社会演習

≫ 経済学から環境問題を考える

経済分析の手法を使って環境破壊のプロセスおよび改善の方法を考究し、環境と経済の関係を是正する方法を考えます。身近な問題から環境破壊を引き起こす経済的要因とメカニズムを理解し、自分自身の環境保護活動を通して、環境制御のあり方に根拠を与える理論を習得します。

この学問と社会とのつながり

環境は最高の公共財です。「カシコイ」生活者になるために、また就職活動を行う際にも、私たちの足元となる地域経済、私たちを取り巻く地球環境の状況およびその状況変化につながる諸企業の経営戦略展開・市町村の振興方法を理解する必要があります。



学生コメント

「経済学」では、経済の基礎だけでなく、より深い部分まで学ぶことができます。私たちの生活における生産から消費までの一連の流れを学ぶことで、経済の仕組みを理解できるようになります。常に変化する日本経済や景気などに対して、私たちがどのように対応すべきかを考えるようになりました。

渡辺和幸
国際文化学科3年／私立敬和学園高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 身近な環境問題を訴えかける



詳しくはこちら

講義② 「自分の財布」から見えてくる経済

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

アニメ産業

Animation Industry

● 担当教員

松本 淳

国際文化学科
准教授



情報メディア

【最終学歴】 東京大学大学院学際情報府社会情報学コース博士後期課程

【研究分野】 コンテンツ産業論 / メディア政策論 / コンテンツ・マネジメント

【担当する科目】 コンピュータリテラシー / デジタルコンテンツ概論 / コンテンツプロデュース論 / メディア産業論 / デジタルコンテンツ制作 / アニメ文化経済論 / 情報メディア演習

≫ コンテンツが社会に与える影響について考える

アニメ・ゲームといったエンターテインメントコンテンツは、今や日本のイメージを形作る存在です。それらのコンテンツは、インターネットを含めたさまざまなメディアで私たちを楽しませ、相互理解を助ける役割をも果たしています。

この学問と社会とのつながり

日本のアニメ・ゲームなどは海外でも人気が高く、産業規模は拡大を続け、人々のコミュニケーションにも役立っています。このようなコンテンツの創出方法やそのあり方は、あらゆるビジネスに応用できるものです。近年では、作品の舞台を訪れ、世界観を味わうコンテンツツーリズムが注目されています。



学生コメント

「アニメ産業」では、プロデュースやマーケティングを軸にアニメについて学びます。専門的な知識を深めると共に、社会との関わりや与える影響なども知ることができます。テキストや資料だけでなく、映像を見たり、業界で活躍する方のお話を聞けるので、一味違った視点でアニメを楽しめます。

神林悠理
国際文化学科4年 / 新潟市立万代高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① コンテンツと地域との関係を築く



詳しくはこちら

講義② プロデュースとプロジェクトマネジメント

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

情報メディア

Information Media

● 担当教員

一戸 信哉

国際文化学科
学科長・教授



情報メディア

【最終学歴】 早稲田大学大学院法学研究科公法学専攻修士課程

【研究分野】 情報法 / 情報メディア論

【担当する科目】 情報メディア論 / デジタルジャーナリズム論 / 著作権法 / 時事問題研究 / 情報メディアPBL / 情報メディア特論 / 情報メディア演習 / アクティブラーニング演習

≫ 新しいデジタルメディアに触れる

近年は、ユーザーが自ら情報を発信し共有するソーシャルメディアが大きな影響力を持つようになりました。新しいサービスを使いこなし、インターネットのような新しいメディアや既存のマスメディアがどのような方向に向かい、社会や個人の生活を豊かにしていくのか、その道筋を見極めます。

この学問と社会とのつながり

情報メディアの変化に適應できる人々は、ソーシャルメディアも利用して、強力的なつながりを持っています。互いに自分の学びや発想にも、多くの刺激を得られます。大学生も、IT業界やメディア業界など、社会各層に広がる優秀な人々とつながり、学び続けることが十分可能です。



学生コメント

「情報メディア」では、地元の身近な話題を深掘りし、コンクールに応募する映像作品や地元ラジオ局で放送する番組の制作をしています。制作に必要な技術はもちろん、ナレーションやSNSでの情報発信も実践的に学びます。地域を知ること視野が広がり、コミュニケーションスキルも向上しました。

田中凜歩
国際文化学科4年 / 新潟県立新潟西高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 情報ネットワーク社会を読み解く



詳しくはこちら

講義② ネット・スマホの安全利用を考える

講義③ 映像で考える地域の過去・現在・未来

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

英語文化 コミュニケーション 学科

[English and Communication]

共通語としての「英語を学び」、 異文化を「英語で学ぶ」

コミュニケーションとは、相手の考えや想いに耳を傾け、相手の置かれている状況を理解した上で、自分の考えを持ち、伝えていくという双方向の創造的活動です。英語文化コミュニケーション学科では、世界の共通語である「英語を学び」、日本とは異なる文化や歴史について「英語で学ぶ」ことを通じて、コミュニケーション力を伸ばします。



文学・文化 コース

英語圏の文学・文化から 人間理解や世界観を学ぶ

英米の文学作品や文化、歴史、社会の動きを学び、言葉に対するセンスを磨くと共に、英語圏の人々の人間理解や世界観を学びます。同時に、自分の文化への意識と理解を深めていきます。



英語教育 コース 教職課程(英語)

児童や生徒に英語を教える知識と 技術を学ぶ

英語教育に必要な知識と、教える技術を実践的に学び、専門教科の知識を深めます。理論と実践の両面を備え、児童や生徒への英語教育に関わる人を育てます。教員免許(英語)が取得できます。



キャリアコミュニケーション コース

実践的な英語力と コミュニケーション能力を高める

通訳などの専門スキルのみならず、広く仕事に生かせる英語力を鍛えます。人との関わりや地域・世界の動きについても学び、学外学習を通して実践的に主体性やコミュニケーション能力を養います。

● 学びの分野

アメリカ社会史

American Social History

● 担当教員

山崎 由紀

英語文化コミュニケーション学科
教授



文学・文化 歴史探究

【最終学歴】 米国カリフォルニア大学大学院歴史学博士課程(Ph.D.)

【研究分野】 アメリカ文化 / アメリカ研究 / アメリカ史

【担当する科目】 メディア英語 / アメリカ社会と歴史 / 講読 / コミュニケーション演習

≫ 人々の目線から国家や共同体の歴史を探る

アメリカは、肌の色や祖先の故郷、そして政治信条や宗教の違いといった多様性を認める国であり、多様な背景を持つ人々に機会が与えられる国です。しかし、このことが認められるまでの道のりは平坦ではありませんでした。「人々の目線」から学ぶアメリカの歴史を通して、私たちの生きる社会を考えます。

この学問と社会とのつながり

歴史を学ぶ何より大切な目的は、歴史に学ぶこと、過去を教訓とすることです。社会のあらゆる場面で「多様性」を経験してきたアメリカを学ぶことは、少子化や経済・外交問題に直面する日本や、国際交流を求める私たち個人に多くのヒントを与えてくれます。日本も私たちが思う以上に多様化しているのです。



学生コメント

「アメリカ社会史」では、黒人や先住民、移民等のアメリカにおけるマイノリティな人々について学びます。書籍に加え、インターネットを駆使することで多くの事象を学べました。どんな社会にもマイノリティな人々が存在することを知り、社会のあり方を考える上で欠かせない視点を持つことができました。

菅 詩音
英語文化コミュニケーション学科3年 / 新潟県立新潟高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 首都ワシントンD.C.から見るアメリカ



詳しくはこちら

講義② 第二次世界大戦中の在外日本人と日系人

講義③ 英語のニュースで読み解く国際社会

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

アメリカ文学

American Literature

● 担当教員

荒木陽子

英語文化コミュニケーション学科
准教授

文学・文化 多文化理解



【最終学歴】新潟大学大学院現代社会文化研究科国際社会形成論専攻博士後期課程

【研究分野】北米英語圏の文学、文化

【担当する科目】英語文学／文学研究／異文化コミュニケーション論／翻訳／コミュニケーション演習

≫ 北米の文学と、それを生み出した背景を学ぶ

北アメリカというと、英語圏のイメージが強いですが、フランス語圏やスペイン語圏に加えて、各種先住民の言語圏もあります。日常的に多様な言語が使用され、さまざまな文化が共存しているのが現実です。北米の中でも特に英語圏の文学や文化を中心に、それを生み出したコンテキストも含め研究します。

この学問と社会とのつながり

文学や文化は、社会や時代、そして作家があって、はじめて生成されます。また一方で、文学や文化が、社会を動かしていくこともしばしばあります。ですから、文学や文化を純粋芸術としてのみ楽しむことももちろん可能ですが、それでは非常にもったいないような気がします。



学生コメント

「アメリカ文学」では、アメリカの文学作品を読み進め、内容や著者、歴史について学びます。作品を通じてかつてのアメリカ社会を知り、同時にアメリカの生活風景を日本と比較できることがアメリカ文学の魅力です。欧米とアジア諸国のコミュニケーション方法の違いも学ぶことができました。

恩田貴文
英語文化コミュニケーション学科4年／新潟県立長岡大学高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① カナダ沿海諸州の風土と『赤毛のアン』



講義② 近年の北米のノーベル文学賞受賞者たち

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

イギリス文学

English Literature

● 担当教員

金山愛子

英語文化コミュニケーション学科
学長・教授

文学・文化 多文化理解



【最終学歴】米国プリンマー大学大学院古典ギリシア語専攻修士課程

【研究分野】ギリシア悲劇およびシェイクスピアを中心としたイギリス演劇／児童文学

【担当する科目】英語文学／文学研究

≫ 文学は人間的生き方を模索する手がかり

英文学は、英語で書かれた文学作品を研究する学問です。文学は人の心や社会、時代を映す鏡です。個人を描きながら、普遍性があります。文学研究を通して、国境や時代を超えて、世界やそこに生きる人々の心のありようを知ると共に、これまでの人生を振り返り、新しい生き方を模索します。

この学問と社会とのつながり

シェイクスピアなんて役に立たない？利潤追求型の生産生活や、正義は一つしか認めない問題解決型の思考をしているとそう思うかもしれません。しかし、世の中には答えのない問題の方が多いのではないのでしょうか。多様な考えや生き方を許容する文学が、人間的な生き方を模索する手がかりを与えてくれます。



学生コメント

「イギリス文学」では、シェイクスピアなどの中世・ルネサンス期の文学作品や、近代・現代小説などを学びます。原文にも親しみながら、時代背景との関わりについても考えます。演出ノートを作成して実際に演じたり、その作品の映画を鑑賞したりもするので、楽しみながら理解が深まります。

若月美羽
英語文化コミュニケーション学科4年／私立第一学院高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① イギリスの風土と人々



講義② リベラルアーツの学び

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

英語学

English Linguistics

● 担当教員

主濱祐二

英語文化コミュニケーション学科
准教授

英語教育 キャリアコミュニケーション



【最終学歴】名古屋学院大学大学院外国語学専攻英語学専攻博士後期課程

【研究分野】英語学

【担当する科目】英語学／英文法／通訳実践／グローバルコミュニケーション実践／言語学／コミュニケーション演習

≫ 英語を通して人間の知の営みを探る

英語学は、英語ということばを対象に、音声・意味という側面と、それを結びつける文法という側面から、人間のことばの仕組みを解明しようとする学問です。英語の仕組みはもちろん、その歴史的・文化的・社会的背景も学びながら、英語を通して人間の言語知識の構造や豊かな知の営みを探ります。

この学問と社会とのつながり

ことばを研究することは、「私たちが人間たらしめるものは何か」という問いと同義であり、人間を理解するための重要な学問分野です。コミュニケーション、教育、情報科学、さらには文化全般に、ことばの研究は強く関わっています。



学生コメント

「英語学」では、英語が多くで国で話されるようになった経緯や、どのように現在私たちが学習する英語になっていったのか、その歴史を学びます。話し手と聞き手では言葉の意味が変わるなど、日本語にも共通する言語と心理の関係を学べるので、社会において良好な人間関係を築くことにも役立ちました。

吉崎佳太
英語文化コミュニケーション学科3年／新潟県立新津高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① くらべてみよう 英語らしさと日本語らしさ



講義② グローバル・コミュニケーション入門

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

応用言語学

Applied Linguistics

● 担当教員

川又正之

英語文化コミュニケーション学科
教授

英語教育 キャリアコミュニケーション



【最終学歴】米国イリノイ大学大学院英語教育学科修士課程

【研究分野】言語と思想／言語と言語教育

【担当する科目】英語教採準備コース／英語教育学概論／英語教材研究論／英語科教科教育法／コミュニケーション演習／英語科授業研究／教育実習事前事後指導／教職実践演習

≫ ことばの教授と学習を研究する

私たちが生きていく上で、「ことば」は不可欠のものです。それが母語であれ異言語であれ、ことばを学び、身につけ、そのことばを通して自分以外の人々とさまざまな関係を築きあげます。ことばは社会における人間関係を形作る「源(みなもと)」であり、その過程や教育方法を研究するのがこの学問です。

この学問と社会とのつながり

私たちが生きていく上で、「ことば」は不可欠のものです。そのことばを教える、学ぶとはいったいどのようなことなのでしょう。自分自身の母語以外の言語を身につけるためには、どのようにしたらよいのでしょうか。こういったことを一緒に考えてみませんか。



学生コメント

「応用言語学」を学ぶ中で、英語を身につけることが目的なのか、それとも他の目的のための手段なのかをはっきりさせることが重要です。その上で、日本での異言語への対応をどうすべきかなど、言語の価値や可能性について考えます。この学びのおかげで偏見なく英語に触れることができている。

田中凱也
英語文化コミュニケーション学科3年／新潟県立新潟北高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 英語はどんな言語か — その「光」と「陰」を考える



講義② 英語の多様化と英語教育

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

心理学

Psychology

● 担当教員

益谷 真

英語文化コミュニケーション学科
学科長・教授

英語教育 キャリアコミュニケーション



【最終学歴】同志社大学
大学院文学研究科心理学
専攻博士後期課程

【研究分野】コミュニケー
ション行動の心理学

【担当する科目】心理学/
コミュニケーションの心理
学/コミュニケーション演
習/発達と学習の教育心理
学/教育の方法・技術/教
育相談/教育活動アクティ
ブワーク/教育実習事前
事後指導/教職実践演習

≫ 心の働き方の理解を深める

心理学は心の働き方を研究します。分かりやすい対象としては、錯覚、性格、思考、記憶、意欲、感情、コミュニケーション行動などがあります。一人ひとりの心に違いはありますが、共通する働きに注目して、普遍的な原理を科学的に探究します。

この学問と社会とのつながり

一般の人々との接点の多い臨床心理学では、臨床心理士に加え、国家資格として「公認心理師」が誕生しました。他にも心理士、発達臨床心理士、健康心理士、学校心理士などの認定資格があり、エキスパートが社会で活躍しています。



学生コメント

「心理学」の対象である性格・記憶・感情などは、私たちの身近なところで関わっているものです。授業を通じて得た新たな気づきや疑問について、自らの経験に基づいて話し合うことで、深い知識を獲得できます。日常での他者との関わりを、より広い視野で捉えられるようになりました。

田浦嘉樹
英語文化コミュニケーション学科4年 / 新潟県立三泉高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 心の不思議



詳しくは
こちら

講義② コミュニケーションの合気道

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

教育学

Education

● 担当教員

江口 和美

英語文化コミュニケーション学科
准教授

英語教育



【最終学歴】早稲田大学
大学院教育学研究科教育
基礎学専攻博士後期課程

【研究分野】教育学/教
育行政学/公共経営学

【担当する科目】教職入門
/教育制度論/カリキュ
ラム論/教育実習事前
事後指導/教職実践演習/
人間形成学/コミュニケー
ション演習

≫ 健やかに生きるための学びを教育的に探究

教育学は、人がよりよく生きるための知識・教養の獲得や能力向上を促す行為に関するすべてを研究対象とする学問です。教職のための理論・技術のみでなく、教育の歴史、思想、哲学、心理、行政など大きな広がりを持っています。また、対象も学校教育のみならず、社会教育なども含まれます。

この学問と社会とのつながり

皆さんは児童・生徒として義務教育を受けてきました。学校でなぜこんなことに取り組むのだろうと釈然としなかったことはありませんか。学校教育の歴史、制度、そもそも義務教育とは何かなどを学び、児童・生徒以外の視点から考えてみると、社会の中での学校の姿や役割が見えてきます。



学生コメント

「教育学」では、教育に必要な知識・教養について幅広く学びます。私は教員を目指しているので、自分になりたい、生徒が求める教員像を深く考える機会にもなり、人格面でも成長できました。授業では、学びを実践に生かす工夫が評価されるので、活動を進める際の自信につながっています。

小林咲恵
英語文化コミュニケーション学科4年 / 新潟県立新津高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 義務教育は全国的に同じなのか



詳しくは
こちら

講義② 教育に関連する経費の無料化と
平等を考える

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

児童英語教育

English Education for Children

● 担当教員

大岩 彩子

英語文化コミュニケーション学科
准教授

英語教育



【最終学歴】ハワイ大学マ
ノア校第二言語研究科修
士課程

【研究分野】第二言語教育
/社会言語学/批判的教
育論/アイデンティティ/
エンパワーメント/モンテッ
ソーリ教育/UDL/インク
ルーシブ言語教育

【担当する科目】児童英語教
育概論/児童英語指導実習
論/コミュニケーション演習

≫ 児童対象の英語指導法を学ぶ

児童英語教育のさまざまな理論と指導法を学び、演習形式の授業で指導力・英語運用能力を養います。ユニバーサルデザインを意識した授業と、児童が楽しんで英語を習得する指導計画を組み立てます。児童が「できた!」と感じられる英語の授業を運営できる人材を育成します。

この学問と社会とのつながり

言語は社会で生きていく上で基礎となり、相互理解に役立ちます。母語以外の言葉を学ぶことで、生まれ育った環境とは別の文化や社会を知り、異なる文化の人と交流できるようになります。子どもが文化の違いを受け入れる、互いの多様性を理解することが、未来のより平和な社会につながります。



学生コメント

「児童英語教育」では、学習のユニバーサルデザインに基づいて理論や指導法を実践的に学びます。子どもたちが「できた!楽しい!」と感じる授業を追求します。また、自身の学習スタイルや多重知能について考えることで、最大限に力を発揮できる方法で主体的に学びを深めることができます。

川崎ひかる
英語文化コミュニケーション学科4年 / 山形県立鶴岡北高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 多重知能を理解し、
学習スタイルを知ろう



詳しくは
こちら

講義② 大学の英語の授業を体験してみよう

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

日本語教育

Japanese Education

● 担当教員

木林 理恵

人文学部
契約講師

英語教育 多文化理解



【最終学歴】東京外国語大
学大学院地域文化研究科
博士後期課程

【研究分野】日本語以外を
母語とするものに対する日
本語教育/社会言語学/
語用論/総合的会話分析

【担当する科目】日本語/
日本事情/日本語入門/
留学生と学ぶ日本語表現
/日本語能力試験対策ク
ラス/日本語教育学概論

≫ 「日本語」を手がかりに世界を広げる

日本語教育は複合領域で幅広いテーマが含まれる学問です。純粋にことばと向き合うこともできますし、地域の人々とつながって活動することもできます。「日本語」を手がかりに、さまざまな知識を得るだけでなく、多面的な考え方を身につけ、探求心を育てましょう。

この学問と社会とのつながり

私たちは「普通はこうだよ」という表現を使うことが多いです。しかし、「普通」から離れた言葉づかいがおもしろがられたり、「正しい」はずの言い方なのに失礼な振る舞いになったりすることがあります。このようなコミュニケーション上の効果を理解していきましょう。



学生コメント

「日本語教育」では、言葉や文法に関する学び、日本語能力試験のための知識習得だけでなく、実際に運用できるコミュニケーション能力が身につきます。授業は分かりやすく、教室の雰囲気もとてもよいです。日本語でコミュニケーションをとることのすばらしさを感じられるようになりました。

韓強
国際文化学科4年 / 中国・泰山第一職業中等専業学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 日常会話のコミュニケーションを
見つめ直そう



詳しくは
こちら

講義② 異文化コミュニケーション・ゲーム

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

共生社会学科

[Community and Social Welfare]

社会福祉、ソーシャルビジネスの視点で、「共に生きる社会」を考える

急激な地域社会の変貌は私たちの生活に大きな課題を投げかけています。一人ひとりの顔が見え、互いに支え合いかつてのコミュニティのよさを新たな地域づくりの視点から創造する必要があります。共生社会学科では、社会福祉の学びを基本に据えた福祉専門人材はもちろんのこと、ソーシャルビジネスにも通用する人材を育てます。



ソーシャルワーク コース

社会福祉士国家試験受験資格課程

社会福祉の知識と技術を深める

社会福祉の理論と実践を学び、生活課題を抱える地域や人々を支援する専門職であるソーシャルワーカーを育成します。社会福祉士国家試験受験資格、社会福祉主事等の資格が取得できます。



ソーシャルビジネス コース

課題解決型ビジネスにより持続可能な社会をつくる

地域のさまざまな課題をビジネスの視点から解決するソーシャルビジネスのあり方や仕組みを実践的に学びます。まちを活性化し、地域経済に貢献する人を育成します。



● 学びの分野

福祉思想と実践

Welfare thought and its practice

● 担当教員

田中利光

共生社会学科
学科長・教授

ソーシャルワーク ソーシャルビジネス 多文化理解



【最終学歴】 首都大学東京
大学院人文科学研究科社会
行動学専攻博士後期課程

【研究分野】 福祉思想史(ユ
ダヤ教、キリスト教)／慈
善の近代化と女性の活動

【担当する科目】 キリスト教
社会福祉思想史／共生の哲
学／障害者福祉論／共生と
ケア演習／ソーシャルワー
クの基盤と専門職／ソー
シャルワークの理論と方法

≫ ボランティアの思想的背景を理解する

欧米の福祉思想の源流は、古代ユダヤ社会で形成された慈善にありました。後に、それを受け継いだキリスト教慈善の制度・実践は、今日につながる欧米のボランティアや福祉文化の基盤を形成していきました。それらの歴史の変遷を、その時代の資料に基づいて学習します。

この学問と社会とのつながり

マザー・テレサのインドでの事業や活動など、社会の中で思想と実践がどのように連動しているのを見ることで、共に生きる社会を支えている福祉思想を理解します。特に近代以降の欧米では、女性の社会活動が慈善事業や社会事業発展の大きな担い手となりました。



学生コメント

「福祉思想と実践」では、キリスト教に基づいた福祉思想を学びます。教室での学びに加え、大学の敷地内にあるグループホーム「富塚・のぞみの里」で高齢者の方と交流を深める機会もあります。試行錯誤しながらも、利用者さまに満足いただけるような内容を考えることにやりがいを感じています。

森 明歌音
共生社会学科3年／私立東京学館新潟高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 古代福祉思想へのタイムトラベル



講義② 女性の社会進出へのタイムトラベル

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

社会福祉

Social Welfare

● 担当教員

山崎ハコネ

共生社会学科
学科長・教授

ソーシャルワーク



【最終学歴】 日本社会事業
大学大学院社会福祉研究
科博士前期課程

【研究分野】 地域福祉実践と
ケア思想／キリスト教死生学

【担当する科目】 ボラン
ティア論／キリスト教社会
福祉思想史／死生学／高
齢者福祉論／福祉経営論
／共生とケア演習／ソー
シャルワークの理論と方法

≫ 人間としてどう生きるのかを学ぶ

日本は超高齢社会を迎え、地域共生社会の実現に向けた総合的かつ包括的な政策・地域づくりが求められています。困りごとや生きづらさを抱えている子どもから障害のある方、お年寄りや家族、地域とつながり、他者を気遣う心を持って寄り添う支援、共生の道を模索していく学びが社会福祉です。

この学問と社会とのつながり

誰もが安心して暮らせるまちづくりが求められています。全世代の地域住人が対象です。人と共に生きる場で起こるさまざまな生活課題に対して、その緩和・解決に向けた援助が福祉の実践です。困っている人の力になれるように「共生」を一緒に考え、実践力を身につけていきます。



学生コメント

「社会福祉」の中でも、高齢者を支える制度やサービスなどについて学んでいます。授業は、映像や資料が多く分かりやすいです。また、教室で学ぶだけでなく、実際に福祉の現場を見学することで理解が深まります。学生同士で意見交換する機会が多く、積極的に学びを深めることができます。

星 和花奈
共生社会学科4年／私立敬和学園高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 広がる子ども食堂



講義② 「意思決定支援」ってなあに？

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

地域福祉

Community Welfare

● 担当教員

趙 悟行

共生社会学科
教授

ソーシャルワーク ソーシャルビジネス



【最終学歴】 日本社会事業
大学大学院博士後期課程

【研究分野】 地域福祉／
ソーシャルビジネス／社会
福祉におけるアールブリュ
ットのもつ意義

【担当する科目】 地域福祉論
／社会起業論／社会福祉原
論／共生とケア演習／ア
クティブラーニング演習／ソ
シャルワークの理論と方法
／ソーシャルワーク演習

≫ 地域課題の解決策は地域にある

現代社会に生きる私たちの抱える社会的課題は、複雑・多様化しています。コミュニティの機能が脆弱化した今、あらためて地域を基盤とした福祉の営みとその解決策に向け、地域福祉や社会的企業、まちづくりという視点から問いかけます。

この学問と社会とのつながり

現代の社会課題の解決のためには、従来の社会福祉の手法に留まることなく、社会、経済、文化など、地域を構成するあらゆる要素からのアプローチが必要です。地域福祉は、生活に直結する問題に関わる日常生活の実践として発展してきました。この学びは、人々の生活とは切っても切れない存在なのです。



学生コメント

「地域福祉」では、地域の方との交流から地域のあり方を知り、課題とその解決方法を考えます。学生の主体性が尊重されるので、地域との関わり方について、受け身ではなく、自分から考えることができました。座学と実践を同時に学ぶことや主体とは何かを常に考えながら実践することができました。

清野朋花
共生社会学科4年／私立敬和学園高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 広がる福祉の新たな可能性、
地域福祉、ソーシャルビジネスとは何か



講義② 福祉はアートだ！
アール・ブリュット、もう一つの世界

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

NPO・まちづくり

NPO, Community Development

● 担当教員

堀野 亘求

共生社会学科
准教授

ソーシャルビジネス



【最終学歴】 京都産業大学
大学院マネジメント研究科
博士後期課程

【研究分野】 NPO/ソ
シャルビジネス/協働による
まちづくり/中間支援組織

【担当する科目】 まちづくり
論/非営利組織論/地域産
業論/社会調査の基礎/共
生とケア演習/フィールド・
トレーニング事前事後指導

» 地域課題を解決する組織について学ぶ

今、地域ではさまざまな課題に直面しています。その課題を積極的に解決しようとするNPOが生まれてきました。しかし、NPOの基盤はまだ脆弱です。そこでそのNPOを支える仕組みが必要です。課題解決を図る組織とその活動を支える組織の協働によるこれからのまちづくりについて学びます。

この学問と社会とのつながり

まさに今起きている社会課題とそれを解決するための新たな取り組みを学ぶ分野のため、最も社会とのつながりが強いと考えられます。その一方、学問としてはまだまだ確立されておらず、これからさらなる探求が必要な分野ともいえるでしょう。社会からの要請と新たな可能性を秘めた領域での学びです。



学生コメント

「NPO・まちづくり」では、NPOという組織を知り、地域交流を通じてまちづくりを学びます。アウトプットを軸にして主体的に学ぶので、広い視野での考察が必要となり、知識と経験の双方が身につきます。実際に社会で活躍する方々のお話を聞く機会もあり、今後を考える上で強い助けになっています。

鳥越 泉

共生社会学科3年/新潟県立小千谷高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① ソーシャルビジネスとは？



詳しくは
こちら

講義② NPOとまちづくり

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

社会起業

Social Entrepreneurship

● 担当教員

石坂 誠

共生社会学科
准教授

ソーシャルワーク ソーシャルビジネス



【最終学歴】 佛光大学大学
院社会福祉学研究科社会
福祉学専攻博士後期課程

【研究分野】 貧困・社会的排
除/ソーシャルワークと協働
の形成/非営利・協働組織
の運営/SDGsと地域づくり

【担当する科目】 社会起業
論/非営利組織論/社会
保障論/保健医療と福祉
/公的扶助論/共生とケ
ア演習/フィールド・トレ
ーニング事前事後指導

» 山積する生活問題を解決・緩和する手法を学ぶ

地域にはソーシャルワークの実践のみでは解決できない問題が存在しています。そうした生活問題を解決・緩和していくための社会資源をどう作り出していくかが問われています。地域に必要な社会資源を生み出していく手法や社会起業の主体としてのNPO、協同組合、企業などについて学びます。

この学問と社会とのつながり

現在の日本には、貧困・社会的排除、下流老人、社会的孤立など、さまざまな生活問題が山積しており、既存の制度・政策やソーシャルワークだけでは対応しきれなくなっています。こうした問題に、NPO、協同組合、企業などさまざまな主体がそれぞれの個性を生かして、取り組んでいます。



学生コメント

貧困問題・地球温暖化・少子高齢化など、現代社会の問題を解決するために、「社会起業」は欠かせないものです。授業では、そういった社会問題を解決する起業家を自ら考え発表します。このような経験や授業で触れる本や資料などから得る新しい発見は、私の今後の糧となっています。

浅野 薫

共生社会学科4年/私立東京学館新潟高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 「天気の子」が問いかけるもの
-FECで創る持続可能な地球と持続可能な地域



詳しくは
こちら

講義② 人へのケア・地域へのケア・
地球へのケア

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

ボランティア

Volunteerism

● 担当教員

池田しのぶ

共生社会学科
助教ボランティアコーディネーター

ソーシャルワーク ソーシャルビジネス



【最終学歴】 新潟医療福祉
大学大学院社会福祉学研
究科修士課程

【研究分野】 ソーシャル
ワーカー養成におけるボラ
ンティアマインドの意義

【担当する科目】 ソーシ
アルワークの理論と方法/
ソーシャルワーク実習指導
/ソーシャルワーク演習

» 思いを行動に移し、自分らしい生き方を見つける

「誰かのために何かしたい」という思いを行動に移してみると、さまざまな出会い、経験から多くのことを学ぶことができます。やるもやらないも自由なボランティア活動から、自分らしい生き方を探ることができるかもしれません。ボランティアの意味、その歴史や活動・実践事例を学びます。

この学問と社会とのつながり

ボランティア活動の場は、災害現場や社会福祉分野ではありません。地域づくり、まちおこし、自然環境整備、エコロジー、地域社会から国際社会まで、この社会におけるあらゆる場面で必要とされ、その活躍が期待されています。



学生コメント

敬和学園大学にはボランティアセンターがあり、「ボランティア」に興味がある学生の活動を支援しています。私は、大学に隣接するグループホーム「富塚・のぞみの里」でのレクリエーションの企画と実践に取り組みました。この活動を通して、高齢者の方との関わり方を学ぶことができました。

村上奈々美

共生社会学科4年/新潟県立見附高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 社会を変える「ボランティア」



詳しくは
こちら

講義② 社会保障の現場
— ソーシャルワーカーの働き

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。

● 学びの分野

スポーツ科学

Sports Science

● 担当教員

松浦進二

人文学部
特任教授



【最終学歴】
法政大学社会学部社会学
科

【研究分野】
バドミントン競技

【担当する科目】
スポーツ実習

» 元オリンピック選手が指導するスポーツ実習

全日本バドミントン総合選手権で13回優勝、バルセロナオリンピックでは5位入賞し、その後は全日本チーム、実業団チーム、大学チームの監督として選手を育成してきた実績を元に、全学生が必修の「スポーツ実習」を担当します。

この学問と社会とのつながり

多くの競技スポーツでは、厳しいトレーニングにより技術や体力を向上させることだけでなく、「他者への気遣い」「礼儀」「言葉遣い」が重視されています。このような経験と訓練は、選手の人格の形成や自己実現につながり、社会に出てからも生かされています。



学生コメント

「スポーツ実習」は、テニスやバレーボール、バドミントンなど、先生の丁寧な説明で安全にスポーツに向き合えます。また、メリハリをつけた指導でみんなが真剣に取り組むので、コミュニケーションが深まり、新しい友達もできます。運動技能だけでなく、協調性やコミュニケーション能力も磨かれます。

瀧口愛己

英語文化コミュニケーション学科3年/福島県立あさか開成高等学校出身

高校向け出前講義・探究テーマ

講義① 夢をあきらめない



詳しくは
こちら

講義② 競技としてのバドミントン(実技指導)

※高校で講義を実施できます。高校の先生を通じて本学にお申し込みください。